

豊かな自然環境に恵まれた 厚真町・安平町・むかわ町

北海道の南西部に位置する厚真町・安平町・むかわ町は、面積の合計が約1,353 km²と、東京23区の約2倍の規模を有しており、東側には日高山脈が縦走し、南側は太平洋に面するなど、豊かな自然環境に恵まれています。また、北海道の空と海の拠点である新千歳空港や苫小牧港に近く、鉄道や道路網なども充実した、交通アクセスに優れた地域です。

作付面積日本一を誇る厚真町のハスカップ、数々の名馬を生み出してきた安平町の軽種馬、地域団体商標にも登録されているむかわ町のししゃもやメロンなど豊かな農水産品のほか、道内屈指のサーフスポットである浜厚真海岸、日本遺産にも認定され鉄道文化を継承する「道の駅あびらD51ステーション」、国内最大の恐竜全身骨格化石「むかわ竜」など、数々の観光資源にも恵まれています。



厚真町（あつまちょう）

あつまるつながるまとまる

大いなる田園の町あつま



面積 404・61 km²

人口 4,422人

世帯数 2,093世帯（令和3年1月末現在）

豊かな森と海、黄金色に輝く田園が広がり、おいしい食材とエネルギー、自然環境が整った都会近郊での田舎暮らしを実現できるまち。

安平町（あひらちょう）

育てたい暮らしたい帰りたい

みんなで未来へ駆けるまち



面積 237・16 km²

人口 7,555人

世帯数 4,026世帯（令和3年1月末現在）

平成18（2006）年に、鉄道の町として栄えた「追分町」と軽種馬の産地である「早来町」が合併して誕生した自然に囲まれたまち。

むかわ町（むかわちょう）

人と自然が輝く清流と健康のまち



面積 711・36 km²

人口 7,727人

世帯数 4,073世帯（令和3年1月末現在）

平成18（2006）年に、海側にあった「鶴川町」と山側の「穂別町」が合併して誕生。全国でも屈指の清流度を誇る「鶴川」が南北に縦走するなど多彩な自然環境に恵まれたまち。



※地図は国土地理院地図を加工して作成しています。